

令和2年度第2回萩市地域公共交通会議資料
まあーるバス運行見直しに向けた調査事業の実施について
(調査手法案)





1. 萩市中心部におけるまあーるバスの現況及び課題把握の調査方法



point

- 萩市中心部における公共交通の現状及び課題を踏まえた二次交通施策を検討し、令和3年度に実施予定の萩循環まあーるバスの実証運行ルート案を作成することを目的に調査を実施する
- 調査を実施し、現状及び課題を可視化する

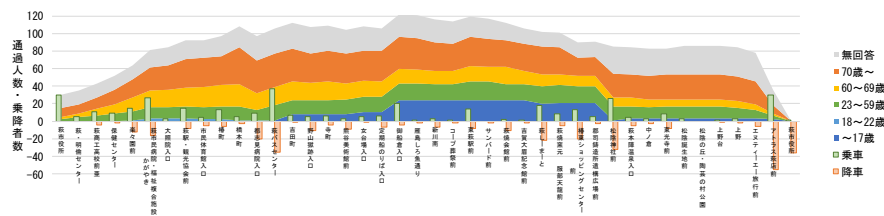
バス停別の利用状況整理

- 既存資料や調査結果を活用し、利用の多寡を整理し、現在既に利用されている方のニーズを把握する



まあーるバス全便乗り込み調査

- 平日と土曜1日で乗降を把握し、運行経路の見直しに資するデータを把握する



交通事業者へのヒアリング

- 運行上の課題(お客様のご意見、遅延状況、道路状況)を確認する



外国人・観光客の視点を確認

- 東萩駅や萩バスセンター到着後、どこにどのような手段で観光しようと考えていたのか、どのような問題があったかなどをWebアンケート(日本人対象)及び在住外国人モニターツアーで確認する





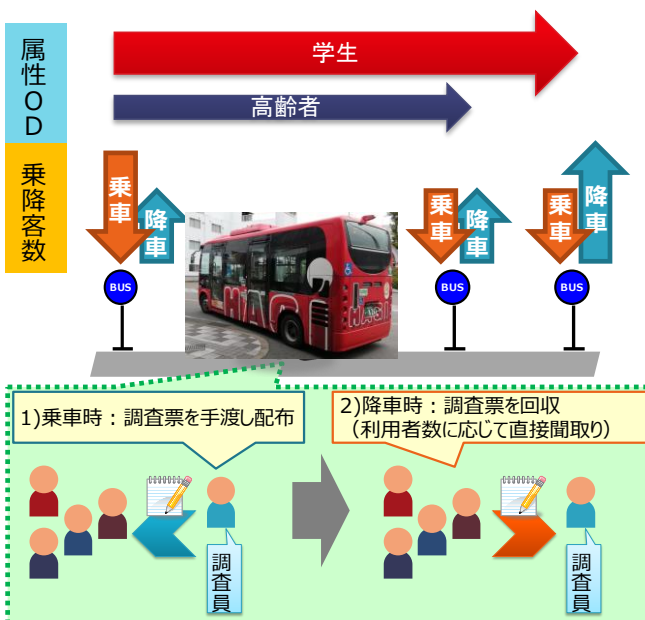
1. 萩市中心部におけるまあーるバスの現況及び課題把握の調査方法

1-1 まあーるバスの乗降OD調査

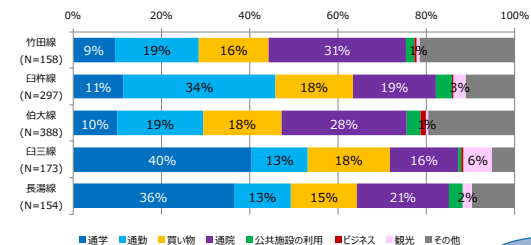


point

- 平日・土曜各1日の全便乗込調査により、利用者全員の詳細な利用実態(『属性』『OD(どこからどこまで行っているか』等)を把握
- 2月上旬の実施を想定(感染症の状況を踏まえて時期の調整を行う可能性あり)

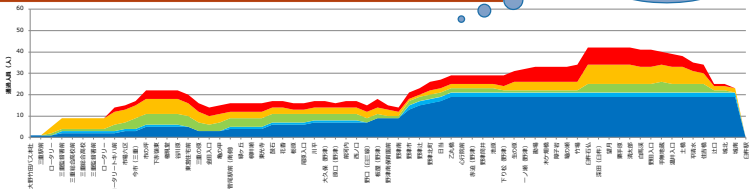


利用者像(年代、職業、目的)



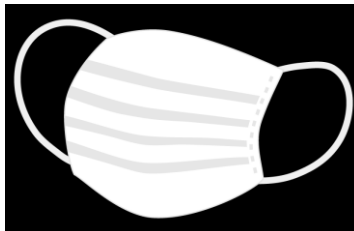
誰が使っているのか?

利用区間・バス停別乗降者数



どの区間の利用があるのか?

乗込調査を実施する際は、マスク・使い捨て手袋を使用し、頻繁に手の消毒を実施することで感染拡大防止・調査員の感染防止に努める





1. 萩市中心部におけるまあるバスの現況及び課題把握の調査方法

1-2 観光客移動実態webアンケート調査



point

- 観光客を対象としたWEBアンケート調査を実施し、萩市中心部における周遊行動を把握し、利用者の移動需要を整理する。
- 交通機関に関する不満点や、目的地までの交通手段を検討する際に何を情報源としたかを把握することにより、交通サービスのインバウンド対応検討の判断材料とする。

WEBアンケートによる観光客等の移動実態把握

- 中国・九州地方在住者計1,000人を対象にwebアンケートを実施
- 萩市への旅行経験を訪ね(2割程度を想定)、市内の移動実態等を把握する
- まあるバス車内においてもアンケートの回答を募るため、QRコードを掲示する(1週間程度を目安)

◆調査項目

項目	調査内容	アウトプットイメージ
属性	✓ 居住地 ✓ グループ、個人 ✓ 年代 ✓ 滞在日数	➢ 来訪者の属性把握 ➢ 属性と課題とのクロス集計に活用
来訪場所	✓ 萩市内の来訪場所	➢ 萩市内での行動を把握
萩市内までからの移動	✓ 萩市内に入った場所、交通手段 ✓ 萩市内から出る場所、交通手段	➢ 萩市内にアクセスする際の移動手段や課題を把握
萩市内の移動	✓ 萩市内の交通手段	➢ <u>萩市内を移動する際の移動手段や課題を把握</u>
公共交通の不満点	✓ 公共交通を利用する際の改善点	➢ 公共交通の運行面、 <u>情報提供面</u> 、サービス面での課題を把握
情報源	✓ 公共交通情報をどのようにして入手したか	➢ <u>公共交通の情報提供面</u> の課題を把握

■バス車内におけるwebアンケート回答依頼チラシの例



Q1.

あなたは最近10年以内に山口県萩市を観光（出張時に観光地に寄られた場合も含む）されたことがありますか？

*

☐ 1回訪れた

■webアンケート調査画面



1. 萩市中心部におけるまあるバスの現況及び課題把握の調査方法

1-3 在住外国人モニターツアー



point

- 公共交通の検索(旅行のプランニング)や、萩循環まあるバス等の公共交通機関を利用した観光地巡りを実際に体験してもらい、評価・感想を分析することで、外国人視点での、観光需要(萩市内での行きたい場所)や、外国人が交通機関(特に二次交通)を利用する上での問題点を整理する。

交通手段・時刻・支払手段に着目したプランニング

- バスの乗り方(どのバス停から、何時に、どこ行きが、どのドアから乗るか、いつ運賃を支払うのか、いくら支払うのか、どこで降りるのか、乗務員に聞いて対応できるのか)等を確認する
- まあるバスを中心に、他の路線バスやレンタサイクル、タクシーを適宜組み合わせることで、萩の魅力をより実感可能とし、二次交通の組み合わせ時の課題を抽出する
- 観光地の多言語状況等を確認

◆実施イメージ



◆サインの多言語チェックシート(例)

交通結節点 多言語表示チェックシート

Multi language check sheet for Public Transportation Terminal

箇所名 Sight Name	東萩駅 ・ 萩バスターミナル その他観光施設 ()			
言語 Language	英語 English	韓国語 Korean	中国語簡体字 Simplified Chinese	中国語繁体字 Original Chinese
チェック者 Your Name				

評価項目 Item	評価 Evaluation		理由 Reason
(1)駅名・バス停名・施設名表示 Name of the Sight (Station/Bus Stop/Other Place)	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(2)路線図表示 Route Map	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(3)停車駅・停車バス停案内 Guidance for the Station/Bus Stop, the Train/Bus stops	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(4)駅・バスターミナル・施設構内図表記 Map of the Terminal	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(5)乗車券・入館券の表示 Ticket Vendor	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(6)乗継ぎ案内 Guidance for Transferring the Train / Bus / Ferry	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(7)観光情報 Tourist Information	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(8)売店・土産物屋(買い物情報) Shops around the Terminal	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(9)トイレほか設備関係情報 Toilet or the other Facilities for passengers	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	
(10)その他 The Other	1.Very good 2.Good 3.Average	4.Poor 5.Very poor	



2. 調査結果を受けた実証運行ルート案作成のポイント



point

- 限りある交通資源を組み合わせながら、より効果的な公共交通網を再構築
- 利便性向上と効率化の両立を目指す
- 乗車時間の短縮が可能なルート・ダイヤ作成に努める

交通結節点における接続強化

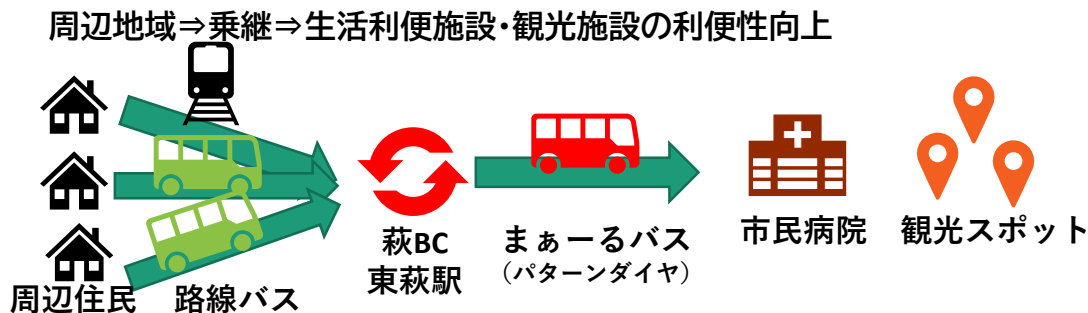
- JR・高速バス・路線バス・タクシー・レンタサイクル等の交通結節点である、萩バスセンター、東萩駅からまあーるバスの接続強化を意識する
- まあーるバスへの乗継で市民病院や観光スポット等への公共交通利便性を向上

観光需要の取込み

- 土日祝日は、世界遺産周遊が可能な観光地を重点的に巡るルートを検討する

パターンダイヤの堅持

- 利用者にパターンダイヤが定着しており、今後もパターンダイヤは継続させる
- 曜日変動や時間変動を考慮し、買い物・通院パターンや観光パターンなど、利用状況や実態に応じたパターン化を図る





3. 調査スケジュール



point

- 次年度以降の実証運行を見据えた工程とする

		R2年度			R3年度
		1月	2月	3月	7月以降
フェーズ		調査 とりまとめ 合意形成			実証運行
項目	利用実態とニーズの把握		調査実施 平日1日		
	①ま あーるバスの乗降OD調査	実施体制整備・調査票作成	土曜1日 集計		
	②観光客移動実態webアンケート調査	調査票作成	webアンケート 集計		
	③在住外国人モニターツアー	実施体制整備	ツアー実施 課題抽出		
	④交通事業者ヒアリング調査				
	二次交通施策の検討（運行ルート等）	調査計画 について			
	交通会議		実証運行（案）		